



建築人

12

2018



建築人

12
2018

目次

2	大阪ホンマもん
4	インフォメーション・事業案内
6	動静レポート
7	Topics
8	Gallery 建築作品紹介 トヨタカラー新大阪名神茨木店 設計 竹中工務店 施工 竹中工務店 パスカル大分工場事務棟 設計 大成建設関西支店 一級建築士事務所 施工 大成建設九州支店 日本庄着端子製造名古屋技術センター別館—Petall— 設計 Atelier KISHISHITA 施工 波多野工務店
11	記憶の建築 松隈 洋 不二家洋菓子舗（横浜） 一九三七年 戦前のレーモンドの街角建築
12	建築の射程 松波晴人 「クリエイティブである」とはどういうことか？ —「新しい価値を生む方法論の開発と教育」を実践したうえでの学び
14	理事会報告 建築相談室から 編集後記

社会貢献部門の活動紹介

地域支援部門担当
社会貢献部門 部門長

山地 康夫



地域委員会では大阪府内を二地域に分け、各地域を中心に興味ある見学会や勉強会を企画して、建築士の仲間作りや社会貢献の場所を設けて活動しています。今年度も三〇件余りのイベントを企画実行しています。

被災支援委員会では、今年は六月一八日に発生した大阪府北部地震を機に茨木市、高槻市、枚方市を中心に本会建築士による相談員派遣を行い、特に枚方市へは罹災証明発効要件である、内閣府指針による調査協力を、その後発生した二〇号、二二号台風による被害も重なり、内閣府指針による風害・水害被害調査へも派遣を行っております。今後の被災支援委員会に反映できるよう活動していきたいと思っています。

まちづくり委員会では、今年六月に近畿建築士会協議会まちづくり部会が承認され二月一〇日（土）、二二日（日）には近畿建築士会協議会主催第一回近畿建築士セミナーが（公社）大阪府建築士会まちづくり委員会の企画で開催、各府県から好評を得ました。ヘリテージ委員会では文化庁の補助を受けて大阪府ヘリテージマネージャーの育成講座を今年度は二五人で肅々と実施しています。その他にヘリテージマネージャー協議会員でMAP作り、WEBの充実、登録文化財を活用して行うイベントやステップアップ講座をも企画運営しています。

社会貢献部門では（公社）大阪府建築士会員は基より、広く一般市民に対して、社会貢献活動に興味を持ち企画・運営にご協力頂ける、皆様を募集中です。（共に活動しましょう）

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

この季節になると街中では、クリスマスを楽しむ人々の気配に包まれてくる。大阪市西区の安治川と木津川が合流する中洲に神聖なゴシック様式の教会がある。

この日本聖公会川口基督教教会が建つ川口一帯は、明治時代に大阪港が開港して設けられた外国人居留地であった。長崎から大阪にやってきたC.M.ウィリアム主教が英学講義所を開設し、英語により拝礼を始めたことで、明治一四年（一八八一年）に教会が設立された。

礼拝堂の設計はアメリカ人建築家のウィリアム・ウィルソンが担い、建設は同じプロテスタント教会の大阪教会も請負った岡本工務店が施工した。建物は尖塔アーチ窓のゴシック様式とされた。構造は煉瓦造で屋根は切妻とされ、小屋組みは木造でシザーブラスが架かっている。また、煉瓦は大阪教会のフランス積みではなくイギリス積みで、大正九年（一九二〇年）に竣工した。

当時、この周辺には洋館が立ち並び大いに賑わっていた。しかし浅瀬などで大きな船の航行が難しく、しだいに利便性の高い神戸に移っていった。現在は唯一、居留地の雰囲気を残す建物となった。阪神淡路大震災で被害を受けたが、一粒社ヴォーリス建築事務所により修復工事を受けて蘇った。建物は国登録有形文化財、大阪市都市景観資源などの登録を受けているが、事前に教会に連絡すれば見学することが出来る。

建築士の会やお・かしわら+東大阪
八尾市立「南山本せせらぎこども園」見学会
1/19 CPD2単位

広く東西道路に面した敷地形状と園舎配置を活かし、川をイメージした手すりが2階バルコニーに計画されています。また、園舎中央部のオープンスペースには、大階段と吹き抜けが設けられ、中廊下でありながら明るく開放感のある空間とされています。是非ご参加ください。
日時 1月19日(土) 受付10:00～
見学 10:30～12:00(予定)
集合 南山本せせらぎこども園玄関前
八尾市山本町南3-1-39
(近鉄大阪線河内山本駅下車、南へ約0.5km、徒歩約5分)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
定員 30名(申込先着順)
設計・監理 (株)大和建築事務所
施工者 シマ・龍華特定建設工事共同企業体

ちょっと知りたい建築セミナー
庭づくり入門!「テラリウム体験」
～ガラスの中の小宇宙～
1/26 CPD3単位(予定)

以前から好評の、(株)荒木造園設計の敷地内見学と、ガラス瓶の中の庭づくり「テラリウム体験」セミナーです。同社の創設者荒木芳邦氏は、大阪万国博松下館庭園、花と緑の博覧会政府苑、リーガロイヤルホテル中庭などを設計しランドスケープという言葉確立させたとも言われる造園家です。池田市にある本社敷地内は、氏が造園を介して伝えたかった「楽しさ、驚き、喜び、高ぶり、安らぎ」が見事に具現化されています。見学でその庭づくりの神髄に触れた後、「ガラスの中の小宇宙」と注目されている「テラリウム」を通して庭づくりを体験します。屋久島の流木と苔など準備した材料を使い、完成した各自の作品をお持ち帰りいただきます。
日時 1月26日(土) 13:30～16:00
会場 (株)荒木造園設計(池田市鉢塚2-10-11)
講師 (株)荒木造園設計 造園設計担当書
参加費 会員3,500円 会員外4,000円
※基本材料費1つ分を含む
定員 30名(申込み先着順)

建築士の会やお・かしわら+東大阪
八尾市立「志紀おおぞらこども園」見学会
2/16 CPD2単位

園舎の中央に2層吹き抜けのランチホールを配し、吹き抜けの上部には室内から空を感じられる高窓が設けられています。広がりを感じる園舎とすることで、園児の伸びやかな成長を促す造りとされています。是非ご参加ください。
日時 2月16日(土) 受付10:00～
見学 10:30～12:00(予定)
集合 志紀おおぞらこども園玄関前
八尾市志紀町西2-1-10
(JR大和路線志紀駅下車、西へ約1km、徒歩約13分)

参加費 会員1,000円 会員外1,500円
定員 30名(申込先着順)
設計・監理 (株)東畑建築事務所 大阪事務所
施工者 (株)三栄建設

シニアサロン第66回—専門医に学ぶ—
編—
貴方の腎臓は大丈夫??!
2/21

肝臓の状況は血液検査等で日頃から医師から注意を受ける機会もありますが、腎臓について耳にしたことがありますか?日頃疑問に思っていることを、栗原先生が解りやすく説明してください。
日時 2月21日(木) 15:30～17:30
会場 大阪府建築士会会議室
講師 栗原陽次郎医師
定員 50名
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
懇親会参加費 5,000円

NY海外研修
「グランド・ゼロからのスタート」
2/21～26 CPD申請中

今回はニューヨークを訪ねグランドゼロでの献花、4WTC見学、美術館巡りの他、ゴスペルクワイヤの鑑賞等を楽しみます。また現地でも働く技術者の方々と交流、情報交換等のひと時も持つ予定です。
日時 2月21日(木)～26日(火)
訪問地 アメリカ合衆国 ニューヨーク
参加費 285,000円(10名以上の場合)
※飛行機、ホテル、一部の食事代含む。
(但し、燃油サーチャージ、空港利用税等は別途)
視察先 グランドゼロ、4WTC、メトロポリタン美術館、グッゲンハイム美術館他

事務局年末年始休暇のお知らせ

12月29日(土)から1月6日(日)まで休ませていただきます。

Administration
行政からのお知らせ

大阪市老朽住宅建替え・解体費補助制度

○建替え:古いアパートや長屋等を集合住宅に建替える場合、建替建設費等を補助します。また、「特に優先的な取り組みが必要な密集住宅市街地(優先地区)において、隣地を売買で取得して戸建住宅へ建替える場合、設計費等を補助します。

○解体:優先地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築の木造住宅を解体する場合、解体費を補助します。
※重点整備エリアでは要件緩和あり

■大阪市ブロック塀等撤去費補助制度
道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去費、撤去後に新設する軽量フェンス等の設置費を補助します。補助限度額は撤去20万円、新設30万円(2019年度以降は撤去15万円、新設25万円)。補助率は2/3(2019年度以降は1/2)。
問合 大阪市都市整備局耐震・密集市街地整備
Tel.06-6882-7053

豊中市木造住宅等除却費補助制度

豊中市では、庄内・豊南町地区の木造住宅等の除却費の補助を実施しています。
対象となる建物 昭和56年5月31日以前に建築された木造の建築物
制度運用期間(予定)
平成30年4月2日(月)～平成31年3月29日(金)
その他、補助率、補助限度額、対象となる区域、申し込みの詳細については、豊中市のホームページで「除却費補助」と検索してください。

消費税の軽減税率制度について

2019年10月1日から、消費税率の引上げと軽減税率制度が実施されます。
軽減税率制度は、飲食料品等を取り扱う事業者の方だけでなく、消費税の納税義務のない免税事業者を含め、多くの事業者の方に関係します。
詳細につきましては、以下の政府ホームページ特設サイトをご覧ください。
https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/keigen_zeiritsu/index.html

Others
その他のお知らせ

各地に現存する懐かしい明治建築の幻燈上映会19
12/15

建築は時代を雄弁に語る歴史の生き証人だと言われます。消えてゆく歴史建築を見ながら保存と開発について考えます。
日時 12月15日(土) 11:00～
会場 堺市立東図書館(北野田駅前)
講師 明治建築研究会代表柴田正己
問合 明治建築研究会
Tel.090-4289-1492

開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会
12/12 CPD5単位

建築士事務所の開設者と、管理建築士は、建築士事務所の運営はもとより業務委託者に対する責任を負っており、社会変化に応じた最新の法制度や技術等に精通し、その資質を維持向上していくことが求められています。本研修会は、建築士事務所の管理・運営を適切に進める上で把握しておくべき重要事項を網羅した内容となっており、5年ごとの事務所登録の更新の機会に合わせて受講する(任意)ことで、資質の維持向上を図ることを目的とします。
主催 (一社)大阪府建築士事務所協会
(一社)日本建築士事務所協会連合会
日時 12月12日(水) 10:00～16:00
会場 エル・おおさか(大阪府立労働センター)6階大会議室
大阪府中央区北浜東3-14
定員 100名(定員に達し次第締切)
対象 建築士事務所の開設者及び管理建築士
※今年度の受講対象者は平成31年建築士事務所登録更新事務所となっています。
受講料 本会会員13,000円(テキスト代含)
問合 (一社)大阪府建築士事務所協会
Tel.06-6946-7065

World café 建築を学ぶ学生と先輩との対話
2/16

学生と建築関連分野で活躍する先輩とが親しく対話する場を設け、学生の将来への不安を少しでも取り除くとともに、学生と社会とをつなぐきっかけをつくることを目指した企画です。
主催 (一社)日本建築学会近畿支部 近畿支部男女共同参画のための女性会員の会
共催(予定) (公社)大阪府建築士会、(一社)大阪府建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会近畿支部、(一社)日本建築協会

日時 2月16日(土) 13:30～16:30
会場 大阪府立中之島図書館本館3階
多目的スペース2
大阪府北区中之島1-2-10
スケジュール(一部変更になる場合があります)
12:00～13:00
見学会(希望者)
重要文化財・大阪府立中之島図書館の見学(解説付き)
13:30～15:35
第一部 先輩自己紹介
World Café形式のワークショップ
15:50～16:30
第二部 ワークショップ報告
全体意見交換 まとめ
17:00～18:00
懇親会(希望者) 学生と先輩の交流
定員 50名
対象 建築を学ぶ学生、建築界で働く先輩
参加費 学生300円 一般500円(飲料代)
見学会 無料(但し参加者限定)
懇親会 学生1,000円 一般2,000円
問合 (一社)日本建築学会近畿支部
Tel.06-6443-0538

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価等
(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

詳細は、本会ホームページをご覧ください。

建築士会会員受講料全額補助 大阪府住宅省エネルギー設計者講習会 簡易評価法(仕様ルート・簡易計算ルート) 12/7、12/21、1/18、1/24 CPD各6単位

国土交通省が新省エネ基準を2020年までに段階的に新築住宅への適合を義務付けることに先がけて、設計者に木造住宅の省エネ技術の習得をしていただく講習会です。

日程 ①12月7日(金) ②12月21日(金)
③1月18日(金) ④1月24日(木)

時間 9:40～16:10(各回共)

会場 大阪府建築健保会館6階ホール(各回共)
大阪市中央区和泉町2-1-11

定員 120名(各回共。申込先着順)

受講料 会員 本会が全額補助(各回共)
会員外1,000円(各回共。テキスト代含む)

※申込方法 専用のWEBからお申込してください。

HP [\[省エネ講習会\]](#) [\[検索\]](#)

※詳細は今月号同封の案内チラシをご覧ください。

建築士法にもとづく建築技術講習会 建築物省エネ法実務講習会・環境 建築見学会 12/10 CPD3単位

本講習会は、設計や申請手続きに携わる実務者の方々向けに、省エネ適判や工事監理・完了検査のポイント、大阪府内建築行政連絡会で発行する省エネ基準に関する様式集やQ&A

等を解説する講習会となっております。講習後は、会場であるコイズミ照明R&Dセンターの設計者から省エネ技術実例を紹介頂き、実際に館内を見学させていただきます。コイズミ照明R&Dセンターは大阪府の環境緑化関連表彰をトリプル受賞されています。

日時 12月10日(月) 14:00～17:15

会場 コイズミ照明R&Dセンター
大阪市東成区東中本2丁目3-3

定員 80名(定員に達し次第締切)

受講料 建築士会会員 4,000円
後援団体会員 5,000円
一般 6,000円

大阪府知事指定講習 「建設工事の安全・健康確保講習会」 12/11 CPD3単位

本講習会は、設計、施工等の各段階における安全・健康確保の措置や、建築労働者の意識向上を図る取組み方法についての講習を行い、労働災害防止に関する建築技術者の安全と健康を確保することを目的としており、テーマを変えて4回実施します。また、本講習受講により取得された現場管理技術者のCPD単位は、大阪府公共建築室が発注の条件付一般競争入札(実績評価型)において、H31年度から評価点を取得できます。

日程・テーマ
12/11(火) 仮設計書のポイント、職業病予防、解体工事の安全対策など

時間 13:30～17:05

会場 大阪府建築健保会館

講師 建設業労働災害防止協会及び株竹中工務店の安全管理担当者

定員 100名(定員に達し次第締切)

受講料 建築士会会員3,000円
後援団体会員4,000円
一般5,000円

建築士法にもとづく建築技術講習会 中大規模木造構造設計講習会 12/21 CPD4単位

「公共建築物の木材利用促進法」が2010年に施工され、低層の公共建築物などは原則として木造化、木質化することが義務付けられましたが、なかなか推進されていないことが現状です。本講習会では東京大学大学院教授の稲山正弘氏を講師にむかえ、より実務的な内容について講習を行います。

講義内容例

- ・中大規模木造に関わる防耐火基準と構造基準の要点
- ・木造で防火壁をつくる場合の納まり
- ・木造構造設計時に参照すべき本 等

その他の講義内容はチラシをご確認下さい。

日時 12月21日(金) 13:00～17:05

会場 大阪工業大学梅田キャンパス
セミナー室201・202

定員 100名(定員に達し次第締切)

受講料 2,000円(テキスト代は含みません)

テキスト 「中大規模木造建築物の構造設計の手引き」を講習会特別価格にて販売します。詳細はお申込時に確認いただくか、事務局までお問い合わせ下さい。

平成30年度監理技術者講習 (監理技術者以外の方も受講可能) 1/18、2/6、3/6 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。

日程 1/18(金)、2/6(水)、3/6(水)

時間 8:55～17:00

会場 大阪府建築士会会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

大阪府知事指定講習 平成30年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》 1/29 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法で、伝統構法の木造建築物の耐震診断等に用いられます。

日時 1月29日(火) 9:30～16:00

会場 大阪府建築健保会館6階ホール

最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車

定員 120名(定員になり次第締切)

受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

建築士法にもとづく法定講習会 平成30年度建築士定期講習 2/21、3/18、3/29 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成27年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

日程・会場・定員

※2/21(木) 大阪国際会議場 300名
3/18(月) 大阪国際交流センター 200名
3/29(金) 大阪府建築健保会館 90名

時間 9:25～17:00(各講習日共)

受講料 12,960円(消費税含。事前振込)

申込書配布場所
大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局又は、建築技術教育普及センターHPからダウンロード(平成27年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)

申込方法

上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送。
受付場所(送付場所)
※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

<https://jaeicktosyu.jp/jaeictaikikosyu/>
(注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

平成30年度文化遺産総合活用推進事業 「文化財の活用を通じて保存を学ぶ」 (全6回) 12/4、12/6、12/16、1/13、1/26

毎回異なる国登録有形文化財の会場で「まちあるき」と「ワークショップ」を行う体験型の講座です。また其々の文化財所有者からは文化財の保存及び活用の取組事例や課題などを伺います。

①12/4(火) 寺西家住宅：ハーバリウム
②12/6(木) 青山ビル：書画篆刻
③12/16(日) 児山家住宅：ミニ門松製作
④19/1/13(土) 奥野家住宅：能鑑賞
⑤19/1/26(土) 岩根家住宅：甘酒製作

※時間：13:00～16:30
受付は各回開始30分前
(第3回のみ18:30～20:30)

募集 各回24名(先着順・事前申込制)

参加費 各回1,600円

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

第63回大阪建築コンクール 1/15～31

本コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するもので、今年で第63回を迎えます。渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者を表彰します。

募集対象 大阪府知事賞部門、渡辺節賞部門
(完了検査済証発行日で39歳以下)

両部門共建物の種類・規模は問わない

審査委員
委員長 松隈 洋(京都工芸繊維大学教授)
委員 橋本一郎(エス・キューブ・アソシエイツ)
鉾井修一(京大名誉学教授)
松岡 聡(近畿大学教授)
松田浩三(大阪府住宅まちづくり部 公共建築室室長)

応募期間 1月15日(火)～1月31日(木)

応募資格
大阪府知事賞部門：本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者
渡辺節賞部門：本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者で完了検査済証発行日で39歳以下の者

応募料 本会正会員 1作品20,000円
本会正会員外 1作品40,000円

※詳細は本号同封の第63回大阪建築コンクール応募要項をご覧ください。

動静レポート

会長動静

- 10/26、27 全国大会さいたま大会
- 10/30 大阪狭山副市長面談
河内長野副市長面談
- 10/31 日本建築材料協会交流ゴルフ
- 11/ 5 柏原市長面談
- 11/ 6 在阪建築 15 団体午餐会
八尾市長面談
- 11/ 7 枚方市長面談
- 11/10 近畿建築士会協議会青年部会
- 11/12 池田市長面談
- 11/13 大阪府収用委員会
- 11/14 運営部門会議
- 11/15 四条畷副市長面談
大阪府中小建設業振興大会
- 11/16 堺副市長面談
- 11/17 近畿建築祭 滋賀大会
- 11/21 理事会・正副会長会議



(右)
高林正啓
大阪狭山副市長



(右)
榊井繁春
河内長野副市長



左から 濱田副会長、岡本会長、
富宅正浩柏原市長、辻野委員、杉原専務理事



(右)
田中誠太
八尾市長



(左)
伏見 隆
枚方市長



(右)
倉田 薫
池田市長



(右)
林 有理
四条畷副市長



(右)
佐藤道彦
堺副市長

運営部門

岡本会長の大阪万博開催決定インタビュー

2025 年の万国博覧会が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして大阪で開催することが決定しました。「未来社会の実験場」のコンセプトを掲げ、展示だけではなく、世界 80 億人がアイデアを交換し未来社会を「共創」する、人類共通の課題解決に向け、新たなアイデアを創造・発信するなどの構想が示されています。

本会岡本会長は、建設専門新聞社からのインタビューで、個々人がポテンシャルを発揮できる生き方と、それを支える社会のあり方を考えるというテーマは、人と人の交流やつながりを基本とする本会の活動方針と一致し、会員約 3,000 人と

その関連する方々とともに、「人」を中心とする様々な世界的課題解決に向け、本会においても取組む決意を示されました。特に、若者が未来に希望が持てる万博とし、若手建築士の活躍に期待するとのメッセージを送られました。

事業部門

近畿建築祭を比叡山延暦寺で開催

11 月 17 日に世界遺産に指定されている比叡山延暦寺において、第 37 回近畿建築祭滋賀大会が開催され、近畿 2 府 4 県の建築士会の会員建築士やその家族など 295 名、大阪からは 34 名が参加しました。近畿建築祭は建築士の交流と情報交換を目的に、近畿の各府県が毎年持ち回りで開催しています。

開会に当り、滋賀県文化財保護課の菅原和之氏に「世界遺産・国宝延暦寺根本中堂の魅力と平成の大修理」というテーマでご講演いただき、1642 年に再建された現在の根本中堂の歴史や、2026 年 3 月まで行われる保存修理の状況などについて解説していただきました。

エクスカージョンでは改修工事現場の見学や伽藍施設の巡拝が行われ、世界文化遺産を通じて、日本の歴史・伝統を感じることのできる有意義な大会となりました。なお、来年度の近畿建築祭は奈良県で開催されます。

建築表彰部門

第 38 回大阪まちなみ賞の入賞作品決定

本会が主催事務局を務める第 38 回大阪都市景観建築賞（愛称：大阪まちなみ賞）には、府民などから 136 件の推薦があり、久審査委員長（近畿大学教授）他 7 名から構成する審査委員会により、10 月 1 日の書類審査で 12 作品を選出しました。選出した 12 作品を対象として、11 月 5 日に現地審査及び最終審査を行い、大阪府知事賞、大阪市長賞、審査員特別賞、緑化賞、建築サイン・アート賞のそれぞれ 1 作品、奨励賞 5 作品合計 10 作品を選定しました。入賞作品の公表は 12 月中旬ごろを予定しております。

「第 61 回建築士会全国大会 さいたま大会」

開催日：平成 30 年 10 月 26 日（金） 会場：大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮 参加者：58 名

10 月 26 日、第 61 回建築士会全国大会「さいたま大会」が、埼玉県さいたま市にて開催されました。「歴史に感謝 未来に約束」～今 埼玉に集う 彩り豊かな暮らしの創造～をテーマに、全国から 3000 人を超える会員が参加しました。ここ埼玉の地で、明るい未来を子どもたちに約束するため、先人の知恵に感謝し、その知恵を生かし、未来の在り方を考え、彩り豊かな生活と環境を創造することが、今回の大会の大きな目的です。式典は歴史ある琴の演奏を、県立女子高生が奏でるという、まさにテーマに合ったオープニングセレモニーで始まり、各賞の表彰、大会アピール、大会旗引継ぎ等が行われ、大盛況の内に終了しました。大阪からは総勢 58 名が参加し、横田友行さん、大野治代さん、熊田将男さん、田代加奈さんの 4 名が長年の活動が評価され、名

誉ある連合会会長表彰を受賞されました。さて、私はというと、例年どおり妻と共に大会当日に現地入りし、式典、大交流会に参加、翌日はエクスカージョンで小江戸川越散策に参加し、観光名所を見学するという旅行気分の大会参加でした。川越は火事が多く、類焼を防ぐための耐火建築で造られた蔵造りや黒漆喰の壁、大きな鬼瓦の重厚な造りの商家が連なり、江戸の面影を留めた素敵な街でした。その地方の名所旧跡を訪ね、名産名物を賞味し、温泉があれば体をいやすという、いたってのんきな旅行をここ 15 年程続けています。来年の全国大会は、北海道函館市で開催されます。毎年、限りある予算の中、各地域の創意工夫のもと、すばらしい大会が行われます。会員の皆様、ご家族と一緒に、大会に参加しようではありませんか！

上田茂久（特任顧問）



式典 オープニングセレモニー



エクスカージョン 川越街並み

パワポで魅せる！ビジュアルプレゼン講座

日時：平成 30 年 10 月 13 日（土） 15：00～17：00 会場：大阪府建築健康会館 参加者：42 名

建築情報部門では、役立つ情報を発信する部門として、セミナーによる情報発信も行っています。10 月はマイクロソフト MVP の河合浩之先生をお招きし「パワポで魅せる！ビジュアルプレゼン講座」を開催しました。

◆2011 年から毎年 MVP を受賞
マイクロソフトでは Office の各商品ごとに年間の MVP を認定しています。河合先生は PowerPoint 部門で毎年 MVP を受賞されている日本の第 1 人者です。

◆記憶に残らないプレゼントとは？
よく見るスライドの典型例が紹介されました。少し紹介しますと。。。

1. 長い文章が書いている
2. 図、文で余白なく埋まっている
3. 箇条書き

これらに共通する特徴があります。それは「スライドを読ませている」事です。この事で、読んでいる所と、聞いている所にズレが出て、話を聞けてない事になりま

す。結果、記憶に残らないことになります。

◆記憶に焼き付けるプレゼンとは？

スライドの役割は、「読ませる」事ではなく、「興味、注意を引く」事にあります。そのための 3 つの秘密が紹介されました。さらに伝える資料をつくる 5 つの方法や、建築業界のプレゼン事例等々。。。あつという間の 2 時間でした。

参加された方からも。

「普段悩んでいた内容の解決の糸口が見えたように思います」

「お話がとても上手で、分かりやすく楽しかったです」

「すばしかったです。音もスライドも席も良かったです」

と、MVP の技、トークに魅了されたようです。

参加した私自身も、スキルが 1 段上がったと実感できて、このセミナーが実現して本当に良かったと感じました。

これからの企画では、Jw_cad や、Sketch

水鳥六郎（建築情報部門委員）



Up セミナーを準備中です。
これからも役立つ情報を発信していきますのでよろしくお願い致します。



セミナーの様子



河合浩之先生

著書



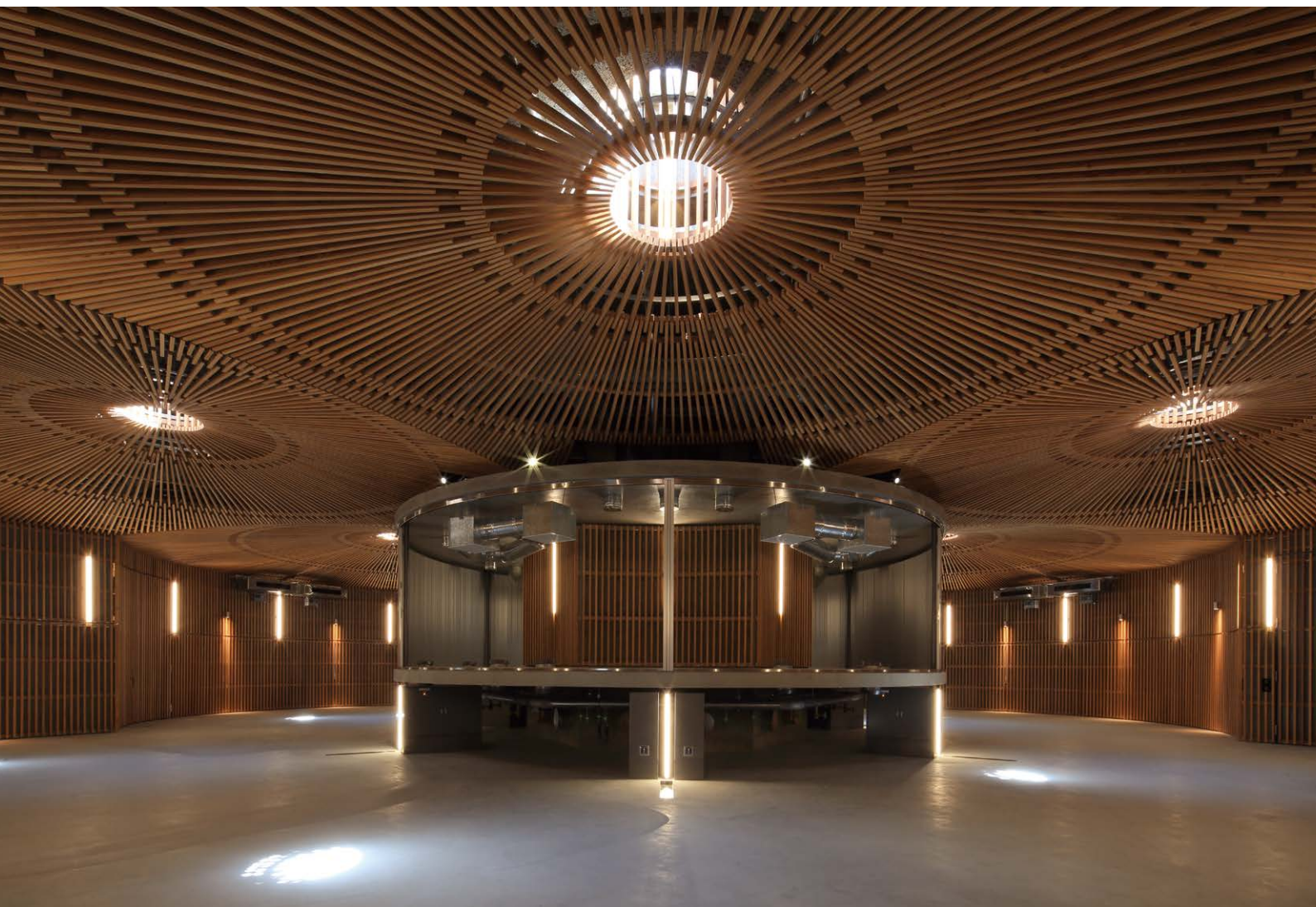
大阪北摂エリアの国道171号線沿いに、ライフスタイル発信型の新たな車のショールームを計画した。敷地に引き込んだ道路は、構内をぐるりと一周することで試乗のためのテストドライブコースとなり、そのまま屋根の上へと連続し、屋外展示エリアを形成する。木質のテクスチャーで包まれたトンネル状の内部空間は、車を展示するほか、アウトドアショップやライブラリーを併設し、今まで車に興味がなかった人も立ち寄れるような場となっている。この計画では、車の動的体験を空間化したような、新たなモビリティ時代の「車と人の新しい関係」を創造したいと考えた。

所在地：大阪府茨木市
用途：展示場
施工：2018.08
構造規模：S造1階
敷地面積：5,905.49㎡
建築面積：2,143.11㎡
延床面積：1,978.70㎡
写真：母倉知樹(★)
Nacasa&Partners Inc.
NAKAMICHI ATSUSHI



「風景の中に佇む会議室を2室」が求められた建築スキームであった。美しい中庭の真中に建物を配置し、遠景と近景の中にキャンパス(フレーム)を設けた。このフレームで切り取られた風景は様々な場所に様々な表情で現れる。ガラスを透過して見えるだけでなく、ガラス面に反射して新たな風景をも生み出す。水盤には光や自然が反射し、静なる建築に揺らぎ(動)が生まれる。建築の存在は極限にシンプルを目指し、外部と内部の境界を曖昧にすることを追求した。“風景を創る”-建築と自然が相対峙しながらも溶け込み、内部と外部をさらにつなぐ第3の空間を生み出すことを実現しようとした作品である。

所在地：大分県国東市
用途：会議室
竣工：2018.01
構造規模：RC造1階
敷地面積：24,560.13㎡
建築面積：216.04㎡
延床面積：181.67㎡
写真：伊藤 彰
(アイフォト)



愛知県中部の工業団地内に建つ研究試験棟の増築である。400mm厚のRC壁で構成された直径12mの正円が6つ。1つがエントランスホールで残りの5つが重なりながら緩やかに繋がる試験室。中央には屋上への階段を擁する光庭があり、全体が廻遊性のある円環空間となっている。工業団地を取り囲むゴルフ場や某バイオ研究所の緑地が隣接する中、敷地西側に広がる保全緑地の傍で「そっと咲く一輪の華弁」を想わせる形態を採用し、屋上の緑化、外壁の特注煉瓦タイル貼り、室内の木質化など、無機的なものとなりがちな試験棟を自然豊かな周辺環境に馴染ませつつ、小さいながらも存在感のある建築とすることを意識した。（岸下真理＋岸下和代）

所在地：愛知県みよし市
用途：研究所
竣工：2018.04
構造規模：壁式RC造1階
敷地面積：18,236.98㎡
建築面積：546.60㎡
延床面積：613.08㎡
写真：網巻 豊

まだ健在なんだ。二〇一八年六月、久方ぶりに横浜市中区の伊勢佐木町に立ち寄り、変わらないその姿を確認して、思わず声を挙げた。この建物は、一九三七年七月七日に日中戦争が勃発し、日本が泥沼の太平洋戦争へと突き進む五ヶ月前の二月に、レーモンドの設計によって建てられた。時代は、戦争遂行を目的として、同年の十月二十日の鉄鋼工作物築造許可規則を手始めに、建築資材統制が継いで施行され、本格的な近代建築の建設そのものが不可能となっていく。今は周囲に埋もれた印象さえ与えるが、当時としては、地下二階、地上五階、延床約二六〇〇㎡の本格的な鉄筋コンクリート造の堂々とした店舗であり、同年に竣工した東京女子大学チャペル・講堂と共に、戦前最期を飾る彼の代表作だったに違いない。その証拠に、『新建築』（一九三八年三月号）の表紙と巻頭六ページを飾っている。

だが、この時、レーモンドはすでに日本を離れていた。晩年に出版された『自伝アントニン・レーモンド』（鹿島出版会一九七〇年）によれば、彼は、一九三七年十二月に、上海、香港を経緯でサイゴンへと渡り、カンボジアのアンコールワット遺跡を訪問した後、インドで建設中のボンディシェリーの僧院宿舎（一九四二年）に滞在する。そして、ジョージ・ナカシマ（一九〇五～一九〇年）に現場を託して七月に渡欧し、祖国チェコのプラグで家族と再会した後、一九三八年九月にアメリカへと帰国する。ドイツではナチスが台頭し、戦争の足音が迫る中、友人の忠告もあつての選択だった。自伝には、次のような回想が綴られている。

「私はプラグの家族をあとにした。そしてその後再び彼らにめぐり会うこともな

く、第二次大戦の混乱の中で全員と死別してしまった。なかでも三人の兄弟は最初に捕えられ、プラグでヒットラーの軍隊に処刑された。」

レーモンドが再び日本の地を踏むのは、敗戦後の一九四八年十月のことである。そして、そのような時代に、レーモンドの離日後、この建物の担当者だった杉山雅則や中川軌太郎ら所員たちは、どのようにして戦時下の事務所を守り抜いたのだろうか。

記憶の建築

松隈 洋

不二家菓子舗（横浜） 1937 年
戦前のレーモンドの街角建築



イセザキ・モールから見る外観全景



1階正面外観

当初は表通りと南側の二面が街路に面していたが、いつしか南側の街路は塞がれて三階建ての店舗が建ったために、特徴的だったL形に外周を廻っていた各階の水平連続窓の軽快さは失われている。店内も大きく改装されていた。それでも、一九三〇年代のモダンズム建築の清新な雰囲気は色あせてはいない。竣工から八一年、今も不二家横浜センター店として営業を続けている。同社のホームページによれば、不二家の創業は一九一〇年、横浜市元町に、創業者・

しかし、『新建築』の誌面からは、そうした暗い時代の予感も伝わってこない。編集者による解説文では、「明朗な姿を現わして大衆を惹き付けている」と紹介され、「最近漸く使用され出したプリズム硝子を階段と四階ホールの街路に面する部分に使用し、採光を充分ならしめ、ファサードに特長を與え、所謂近代的な構成を持っている」と記述されている。竣工写真と現況とを比較すると、正面外観の印象はほぼ原形を保っていることがわかる。ただ、残念なことには、

藤井林右衛門が小さな洋菓子店を開く際、自身の藤井姓や、外国人にも良く知られた日本一の山である富士山にちなむと共に、「二つとない存在でありたい」として名づけたという。そこには、二五歳の若さだった藤井の願いと気概が込められていた。一九一二年には洋菓子事情の視察と技術習得のためにアメリカへ渡り、翌年に帰国、一九二二年に伊勢佐木町店を開店する。その後、銀座にも店舗を構えたが、一九二三年九月一日の関東大震災によって元町、伊勢

佐木町、銀座の店舗が焼失してしまう。それでも、藤井は翌年にはバラックを建てて営業を再開する。そして、一九三〇年代に入ると、大森、新宿、大阪の心斎橋、京都の四条にも次々と店舗を開設して躍進したことを受け、満を持してこの伊勢佐木町店を建設したに違いない。ホームページには、新装開店した店舗の瀟洒な外観と店内に立つ藤井の誇らしげな写真が掲載されている。

だが、そのわずか四年後に始まった太平洋戦争の末期、一九四五年五月二十九日未明の米空軍による焼夷弾爆撃によって、横浜街は焦土と化し、焼失面積は市全体の三十四%にも上った。横浜市史資料室に寄贈された空襲直後に撮影された伊勢佐木町附近の写真には、見渡す限り一面焼け野原となった街の姿が記録されている。不二家の創業者の藤井も、戦争によって、多くの店舗や工場、従業員を失った。それでも、焼け残ったボイラーで沼津の工場を再建し、それが不二家の代表菓子「ミルキー」の誕生につながっていく。一九五〇年には、不二家のキャラクター「ペコちゃん」を、一九六一年には、Fに楕円と花びらを組み合わせた企業マークを世界的なデザイナーのレイモンド・ローウィに依頼して誕生させるなど、戦後復興と共に、市民に親しまれる洋菓子店として発展を遂げていく。

こうした横浜と不二家が遭遇した苛酷な八〇年に及ぶ歴史を振り返るとき、この建物が現役で営業していることの意味を奇跡として感じずにはいられない。地元と共に歩んだその歴史を記憶するこの建物が、良い形でそこにあり続けてほしいと思う。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授、博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

建築の射程では建築に関わる視野を広げるべく様々な活動を紹介しています。今回は新しい価値を創造するための方法論を開発された松波晴人さんにその方法論をご紹介します。

「クリエイティブである」とはどういうことか？ —「新しい価値を生む方法論の開発と教育」を实践したうえでの学び

松波 晴人（まつなみ はるひと）

大阪ガス行動観察研究所 所長、オーグス総研 行動観察リフレーム本部
神戸大学大学院建築系環境計画学専攻修士、コーネル大学大学院にてデザインで修士号を取得、和歌山大学にて博士（工学）を取得。著書に『ビジネスマンのための「行動観察」入門』（講談社）、『「行動観察」の基本』（ダイヤモンド社）、寄稿に「ハーバードビジネスレビュー」「行動観察×ビッグデータ」特集』がある。近著は「ザ・ファースト・ペンギンズ—新しい価値を生む方法論（講談社）」。
大阪大学 産学共創本部イノベーション共創部門 特任教授、京都大学 経営管理大学院 客員教授。

「クリエイティビティ」って何？

建築はクリエイティブな仕事である。さまざまな事柄を検討した上で着想を得て、コンセプトを決め、設計によって具体化し、最終的には建築物を創りあげていく。我々は「クリエイティビティ」や「創造性」といった言葉を普段から使っているが、「クリエイティビティとは何か？その定義は？」と問われたら、みなさんはどうお答えになるだろうか？

そう聞かれて答えに躊躇したとしても、それは当然である。というのも、アカデミックの世界においても、明確な定義は存在しないのである。そこで、本稿では「クリエイティブである」とはどういうことなのか？について考えたい。

筆者は、日本の大学・大学院にて建築を専攻した人間である。しかし今では建築を離れ、新しいサービスや製品などの新価値創造を企業で実践したり、新価値を創造する方法論を研究開発したり、その方法論を大学で教えたり、「イノベーション創出」の仕事に取り組んでいる。

行動観察を用いた新価値創造

行動観察を駆使した新価値創造について簡単に紹介したい。行動観察というのは、とにかく「場」に足を運んで、そこでの人間の行動を観察することで気づきを得て、問題を定義し、新たな価値を提案する方法論である。

たとえば、クライアント企業から「高齢者向けの新しいサービスビジネスを考えたい」という依頼を受けたとしよう。我々は、まず高齢者の家に行く。そして一日ずっと一緒にいさせてもらう。買い物などのお出かけにもすべてついていく。そして、その人についての気づきを

かく挙げていく。訪問する家庭はトータルで五件ほどと、決して多くない。しかし、新価値につながる仮説を得るために個々の人の思いを深く理解しようとする。

ある高齢者の家のリビングには、「欧米の卒業式の服（黒いガウン）を着た犬」の写真が四枚飾ってあった。この女性は、自分の飼っている犬を「犬の幼稚園」に通わせていたのである（このビジネスは実際に存在する）。こういった気づきから、「ひょっとして高齢者の人たちは、よいサービスを受けたい」のではなくて、よいサービスを他者に提供したいのではないか？という新たな仮説が生まれる。この洞察に基づく、これまでとは異なる価値を提供するサービスの発想が生まれる。たとえば、「高齢者が誰かにサービスを提供できる場をたくさん用意して、会費を払ってもらえばいいのではないか」という具合である。

このように、「ビジネスにおいてそれまで常識とされていた解釈やソリューションの枠組み（フレーム）を、新しい視点・発想で前向きに作り直すこと」を、我々は「リフレーム（Reframe）」と呼んでいる。

新価値創造の学校

世の中には、新価値創造の手法として、デザイン思考やU理論、クリエイティブシンキング、などがあるが、この分野の共通認識として、「新価値創造の方法論」についての理論とメソッドはまだ存在していなかった。そのため、これらの方法論を学び直し、「プロセス」と「必要なコンピテンシー（＝八つの玉）」として整理し、八つの玉のトレーニング方法を開発した。この方法論を我々は「Foresight

Creation」(Foresightは「未来への展望」を意味する)と呼んでいる。

こういった「新価値創造」ができる人を育てるための学校として、大阪大学にてForesight Schoolを二〇一六年から実施している。そこで学んだ学生が生んだ新価値の例を一つご紹介したい。それは「人と人がつながる消しゴム」である。学生が観察から得た洞察（仮説）は「人と人はつながりたいと思っているが、自分のことをさらけ出すことには抵抗がある」だった。そこで、阪大の学部別の消しゴム（計一一種類）を創り、「阪大ラバー」（写真1）としてキャンパスで販売を始めた。「あなたも私も文学部ですね」「医学部ですか？」といった会話をきっかけに、学生同士がつながることを意図したのだが、試験的販売でとても売れたために今では定番商品として継続的に販売されている。

これ以外にも文科省のEDGEコンペでForesight Schoolの学生が優勝するなどの成果が生まれ、この方法論の有効性がある程度検証できたので、この方法論を書籍「ザ・ファースト・ペンギンズ—新しい価値を生む方法論（講談社）」（図1）として出版した。



写真1 「阪大ラバー」
各11種類、色が異なり一目でわかる。



図1 「ザ・ファースト・ペンギンズー新しい価値を生む方法論」
(松波晴人著・2018年・講談社)

「クリエイティブである」とはどういうことか？

「クリエイティビティ」についてアカデミックス上の定義は存在しない、と先に述べたが、「クリエイティビティを定義しようと試みた人」は多い。Foresight School を実践した上で、私が最も適切ではないか、と思う定義を紹介したい。認知科学が専門のマーガレット・ボーデンは、クリエイティビティを分類した。そのうちの重要な二つを簡単に解説したい。

① 変換型創造性 (Transformational Creativity) : 枠組みを変容させることで新たな枠組みを生み出す

これは、「Foresight Creation」における八つの玉の一つ、「リフレーム」と同じ概念である。

リフレームとは、シャーロック・ホームズのように「意外な真相」を出すことであり、これまでの常識と異なる新たな仮説を生み出すことである。

たとえば、「天動説（地球を中心に世界が動いている）」から「地動説（地球は太陽のまわりを廻っている）」に物事のとらえかたが変わるのは、リフレームの分かりやすい例である。

また、「グラフィックのリアルなゲーム機」から「家族みんなが仲良く遊べるゲーム機」のように、新価値創造においてもこのリフレームは欠かせない。

② 組み合わせ型創造性 (Combinational Creativity) : 既存の概念の、新たな組み合わせ

こちらは、「Foresight Creation」における「統合」の玉と同じ考え方である。たとえば、ルネッサンスの三大発明の一つである「活版印刷技術」は、印刷とは直接何の関係のない「ワイン造り」の技

術を応用することで生まれている。先に紹介した「阪大ラバー」は、「人と人がつながるきっかけ」と「消しゴム」を統合したものである。

経済学者であるシュンペーターのイノベーションの定義は、この統合にある。すなわち、「これまで組み合わせなかったものが新しく結合」したものがイノベーションなのである。

というわけで、「クリエイティブである」とはどういうことか？ という問いには、「リフレーム」と「統合」ができることである」と答えることができる。

創造力 (creativity) とは？

① 変換型創造性 (Transformational Creativity) :
枠組みを変容させることで新たな枠組みを生み出す

リフレーム

② 組み合わせ型創造性 (Combinational Creativity) :
既存の概念の、新たな組み合わせ

統合

Boden (1998)

「クリエイティブ」と建築、そして「道」

イノベーション系の仕事をしているのと、私が建築出身だということは、無関係ではない。むしろ密接につながっている。

まず、建築を学ぶと、理系（構造計算、空調負荷、など）と文系（建築史、人の暮らしの理解、など）の両方をしっかり

学ぶ。さらに、デザインについても学ぶ。そのデザインも、単なる設計ではない。住む人のニーズの理解、コンセプトの構築、造形としての具体化など、とても広い意味でのデザインを建築では学ぶのである。

これらの多様なことを学ぶ中で、私は「人間を理解すること」に深い興味を抱くようになった。その後はさらに心理学とデザインを学び、行動観察を日本でビジネスとして開始するに至った。これらはすべて「建築を学んだこと」が基礎になっている。建築には感謝しかない。

クリエイティビティが明確に定義できないのは、「誰の目にも明らかのように手順化できない」からである。手順化できるのであれば、AIやロボットにもできてしまう。Foresight Creation という方法論の開発も、「クリエイティビティ」をなるべくサイエンスにしようという試みである。しかしながら、まだまだアートの部分のほうが圧倒的に多い。

「クリエイティビティ」は、最終的には「道（どう）」に帰着するのではないかと考えている。つまり、すべて手順化することは不可能なので、最後は「芸事」のように、「人間としてどうあるか」「どう思うかで実践するのか」が重要な「道」として、教え、語り継がれていくのではないだろうか。

理事会報告

文責 本会事務局

日時 十一月二十一日(水) 十六時～十八時
場所 本会会議室

出席 理事三名 監事二名

(1) 一〇月の当期経常増減額は、収入八、四九九、〇九七円、支出一七、四三九、六二二円、差引△八、九八〇、五二五円で、本年度累計の収支差引一九、四五八、七二二円を報告して承認されました。

後期に入り試験事業、定期講習、省エネ講習は受託事業で精算及び事業途中であることと未だ予算充足比は低く決算時には予算値に近似するものとなりました。登録・閲覧事業は二一〇月の合格発表後から年度末までの収入が見込めます。一二三条研修は一企画の受講者数の減少が目立ち、既存住宅状況調査技術者講習はすべてを終了し、受講者減により大きく予算を下回りました。耐震評価業務は予算比一三五%で、後期も引続き申請が見込まれます。公益目的事業の収支差引が予算比五六%で、全体では約三〇〇万円の赤字に推移していますが、各部門ともに後期の事業活性化を図ることとしました。

(2) 泉佐野市の特定空家の撤去工事の実施にあたり、市に代わって本会が業者への委託発注業務を行う事業の業務仕様書では、調整・調査・発注の業務に問題はないとして、特に工事請負・工事監理業務については本会が業務を発注し業者が実施する旨を正確に表現することとし、本会の立場が明確になるように仕様書の文面表現と実施方法を精査することで承認されました。

(3) 長野県建築士会からの大阪北部地震見舞金について、本会の応急危険度判定活動等災害支援にあてることとしました。

建築相談室から三十二

災害時の対応 三

文 橋本頼幸

先月・先々月では六月に発生した大阪北部地震に関する本会の建築相談室の対応をまとめました。地震の相談もほぼ落ち着いてきたかと思われた九月四日に大型の台風二号によって関西地方に甚大な被害が発生しました。九月四日当日は建築相談室も休会でしたが翌日から台風被害に関する相談が増えました。今月は台風に関する相談数の推移と相談内容の特徴についてまとめます。

相談件数の推移

台風が上陸した翌日の五日から台風関係の相談が増えます。電話相談は十三時から十六時の三時間なので一日一〇件の相談は対応している側としては常に電話対応をしている、電話を置いたら次の相談が来る、という感覚です。地震前の通常の相談件数(昨年度平均二七件)から比べると相当数増えていきます。相談記録からは、台風被害の相談以外にも、地震被害の相談も散見され、災害に関する相談はしばらく継続すると考えられます。

台風被害の相談の特徴

台風被害に関する相談は、主に三種類に分類できます。①自身の被害に対する対応方法・業者紹介、②台風被害により自身が加害者となつて他者に被害を加えた。他者から損害賠償を求められている。③自身が被害者となった。他者や工務店・不動産業者などに損害賠償してもらえなかろうか。①については地震の被害同様、屋根瓦が飛んだずれたなどで修理に来てくれる業者を求める相談、樋やトタンが外れたことに対する対応の相談などです。相変わらず「いつ修理に来てくれますか?」とい

う相談も見られました。②については、自身のブロック塀やフェンスが隣地に向かって倒れたがどうしたらいいか、自身の建物から飛んだ屋根が隣地のカーポートを壊したので半分(約十六万円)を負担してほしいといわれているが払わなければならないのか、などの相談がありました。電話だけでは、どうしたらいいかという話ではありませんし、賠償責任が生じるのか、免責されるのか判断ができません。③についても同様で、台風で倒れたブロック塀に鉄筋がなかったことは手抜き工事として施工者に責任追及できないか、などの相談がありました。これらの損害賠償に関する判断や火災保険やその他の保険を用いた救済措置の検討、維持管理が適正だったかどうか、あるいは時効になるのかならないのか、など建築士として技術的なことだけでは判断できない要素が多分に含まれます。アドバイスによっては間違える恐れもありますので、これらの相談については、弁護士会やADR(民間総合紛争調停センター)、住宅紛争審査会などの機関に相談を誘導するほうが賢明です。

一方で、今回の地震や台風をきっかけに、違法状態になつているブロック塀や物置などを撤去したいという相談も増えているのは、一般の方の防災意識や法令遵守の考え方が定着しているように思われます。

表1 9月の相談件数の推移

	全相談数	うち台風関係
9月3日(月)	5	
9月4日(火)	(台風)	
9月5日(水)	10	7
9月6日(木)	5	3
9月7日(金)	10	6
9月10日(月)	7	4
9月11日(火)	4	1
9月12日(水)	1	0
9月13日(木)	7	4
9月14日(金)	6	2
9月18日(火)	7	2
9月19日(水)	4	0
9月20日(木)	2	1
9月21日(金)	3	2
9月25日(火)	5	2
9月26日(水)	7	2
9月27日(木)	3	0
9月28日(金)	5	1

編集後記

橋本頼幸

十二月になると、なんとなく今年を振り返りたくなりますね。「平成最後の」~と何かと枕詞に使われ、六月の地震、七月の豪雨、夏の「災害級の暑さ」、九月の台風と関西だけでもよくこれだけ災害が続いたものだと思います。九月には北海道の地震、ホテルが倒壊した台湾の地震やイタリアの高速道路崩落も今年でした。災害といえば、仮想通貨の流出やタイの洞窟に閉じ込められた少年達、貴乃花親方もある意味災難だったり。一方で、冬のオリンピックがあったり、サッカーワールドカップがあったり、アジア大会や全米オープンテニスも盛り上がりました。振り返ると賑やかな一年だったように思います。

来年は元号が変わり、消費税率も変わり、今年悪かったことはいい方向に変わるような年になったらいいですね。

二〇一九年はどんな出来事が待っているのでしょうか。新しい元号とともに皆様にも素敵な一年が訪れますように。

建築人 12 2018

監修	公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門
編集	建築情報部門『建築人』編集部
部門長	飯田英二
委員長	牧野隆義
編集人代表	荒木公樹
編集人	河合哲夫 北 聖志 曾我部千鶴美 橋本頼幸 丸子勇人 茂籠一之 若江直生
事務局	山本茂樹 母倉政美
印刷	中和印刷紙器株式会社



和のしつらえ

千利休の心を受け継ぐ信楽焼手洗い器「利楽」と「SUTTO」シリーズのマットブラック洗面混合栓。水場に新しい「和のおもてなし」のご提案です。



京都産業大学 サギタリウス館 日建設計

京都、上賀茂の自然景観と調和したキャンパスへと一新する逐次建替計画において、開学 50 周年の節目に完成した新教室棟である。起伏に富むキャンパス故に学生の集う場が限定される中、最上段の立地による豊かな眺望、敷地の高低差を活かした多様な学生の『居場所』をテーマとした。高さ制限により大部分を地下とする必要があったが、敷地の高低差を結ぶ大階段を軸とした教室配置と、大階段の下にも段状ラウンジを配しながら自然光を導く断面的な工夫を凝らし、明るい学習空間を創出した。大階段は PC 版で構成される屋外の集いの場であり、蹴込部のスリットガラスから内部空間に光を導く屋根でもある。通常のササラ形式の支持方法では層間変位が端部に集中し、屋根としての止水性能が確保できない。そこで外装サッシのスチールマリオンを PC 版 1 段毎の支持材として、層間変位を段毎の変位へと細分化する構造形式とすることにより、シールの追従性、止水性を満たし、これを実現した。陰影をつくり出す深い軒庇と寄棟屋根の意匠により、既存棟と調和させながらも、広場を囲む回遊動線や高低差をつなぐ動線上に屋内外の様々な『居場所』を散りばめ、キャンパスのハブとして、新たな大学の風景を創出した。

撮影：東出写真事務所 平成30年日本建築士会連合会賞優秀賞受賞作品

■プロフィール

若江 直生（わかえ・なおき）
2006年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻
修了後、日建設計
現在 同社設計主管
吉野 優輔（よしの・ゆうすけ）
2007年 近畿大学理工学部建築学科卒業後、日建設計
現在 同社設計部門
水上 和哉（みずかみ・かずや）
2013年 東京大学大学院工学系研究科建築学専
攻修了後、日建設計
現在 同社設計部門

■建物データ

設計：株式会社日建設計
施工：株式会社鴻池組
所在地：京都市北区
上賀茂本山 436
主要用途：学校（大学）
建築主：京都産業大学
敷地面積：259,078.35 m²
建築面積：3,619.81 m²
延床面積：12,962.37 m²
構造規模：鉄骨造・一部鉄骨
鉄筋コンクリート造

